

夕陽の丘

作詞・萩原四朗
作曲・上原賢六

□□□

男

夕陽の丘のふもと行く
バスの車掌の襟ぼくろ
わかれた人に生き写し
なごりが辛いたびごころ

女

かえらぬ人の面影を
遠い他国で忘れたさ
いくつか越えた北の町
目頭うるむたびごころ

男

真菰（まこも）の葦（あし）は風にゆれ
落葉くるくる水に舞う
この世の秋のあわれさを
しみじみ胸にバスは行く

女

夕陽の丘を見上げても
湖（うみ）の畔（ほとり）を訪ねても
かいなき命あるかぎり
こころの傷はまた疼（うず）く
一緒

人の子ゆえに恋ゆえに
落ちる夕陽が瞳（め）にいたい
さよなら丘のたそがれよ
また呼ぶ秋はないものを

夕陽の丘 1

作詞・萩原四朗
作曲・上原賢六

男

夕陽の丘のふもと行く
バスの車掌の襟ぼくろ
わかれた人に生き写し
なごりが辛いたびごころ

女

かえらぬ人の面影を
遠い他国で忘れたさ
いくつか越えた北の町
目頭うるむたびごころ

夕陽の丘 2

作詞・萩原四朗
作曲・上原賢六

男

真菰(まこも)の葦(あし)は

風にゆれ

落葉くるくる水に舞う

この世の秋のあわれさを
しみじみ胸にバスは行く

女

夕陽の丘を見上げても

湖(うみ)の畔(ほとり)を

訪ねても

かいなき命あるかぎり

こころの傷は

また疼(うず)く



夕陽の丘 3

作詞・萩原四朗
作曲・上原賢六

(一 緒)

人の子ゆえに恋ゆえに
落ちる夕陽が
瞳(め)にいたい
さよなら丘のたそがれよ
また呼ぶ秋はないものを